

※このメールは東京都が開催いたしましたイベント等にご参加いただいた方、お名刺を交換して下さった方及びメールマガジンの配信を希望された方に BCC でご案内させていただいております。

※今後、メールマガジンの配信を希望されない場合には、お手数をおかけいたしますが、配信不要の旨、本メールへ返信する形でご連絡をお願いします。

東京都港湾局 物流通信 2024.07.31号(第51号)

【1】東京港のオフピークの利用促進に向けた荷主企業の取組を募集します

背後に大消費地を抱える東京港は、首都圏の生活と産業を支える大きな役割を担っています。東京港と日本全国の間コンテナ貨物輸送の多くはトラックによってなされているため、物流の2024年問題を背景としたトラックの輸送力不足は東京港及び利用者にとって喫緊の課題です。

東京港のコンテナターミナルへのトラックの来場は、慣習化された配送サイクル等により午後や夕方に集中する傾向にあります。トラックの来場時間を分散化させ、コンテナターミナルにおけるゲート前混雑解消を加速するためには、これまでの取組に加え、午前中などコンテナターミナルが比較的空いている時間帯に搬出入を行う「オフピーク搬出入」の取組が重要であると考えています。

このため、東京都は、東京港と荷主・物流事業者の双方の課題解決に資する取組として、「東京港オフピーク搬出入モデル事業」を実施します。本施策の趣旨に賛同し、東京都と共に課題解決を目指していただける荷主企業の取組を募集します。

※ 詳細は、次のURLからご覧ください。

(募集事業の詳細・応募様式等)

https://www.nri.com/jp/service/mcs/koubo/offpeak_ext

(報道発表)

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/07/31/03.html>

【2】「東京港における水素燃料電池換装型荷役機械等の導入促進事業補助金」の補助対象事業を決定しました

東京港では「東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画」を策定し、2050 年カーボンニュートラルの実現、2030 年カーボンハーフの達成を目標に、東京港全体の脱炭素化に向けた取組を戦略的に推進しています。

都は、コンテナふ頭の脱炭素化を推進するため、「東京港における水素燃料電池換装型荷役機械等の導入促進事業補助金」を実施しております。

このたび、令和6年度における補助対象事業を決定しましたので、お知らせします。

※ 詳細は、次のURLからご覧ください。（港湾局 HP）

<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/user/RTG/>

東京港の振興施策のご紹介ページはこちら↓

<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/shinkousisaku.html>

メールマガジン「物流通信」のバックナンバーはこちら↓

https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/post_8.html

問合せ先 東京都港湾局港湾経営部振興課 S0000517@section.metro.tokyo.jp